

ぴらたんニュース

11
2015

「洛」

京都にちなんだ
話題をお届けします。
京 style



琳派 酒井抱一

地方から東京に向かう事を「上京」といいますが、同じように京都に向かうときに使われるのが「上洛」です。なぜ京都に行くことに「洛」という文字が使われるのでしょうか？その謎を解くためには、平安京の時代まで遡ります。平安京は中国の都を模してつくられた計画都市で、南北に走る朱雀大路を中心に、東側に左京、西側に右京の二つの「京」が作られました。その時、唐の大都市長安・洛陽を真似て、左京を「洛陽城」、右京を「長安城」と名前がつけられました。平安京は前途洋々のスタートを切ったものの、平安時代も中期となると、しだいに平安京そのものの解体が始まりました。とくに右京の衰退は甚だしかったのです。右京は地形的に低地で沼や湿地が多く、住居地には適していませんでした。そのため、平安京建設当初から開発にかなり手間取り、早くから住宅や道路が荒廃し農村化していきました。それに比べて左京は発展を遂げ、二条以北は高官の貴族達の邸宅が建ち並びました。このことは、長安をモデルにした都の衰退と、洛陽を模範にした都の繁栄を意味し、京都の別称は洛陽と言われるようになりました。そのため、平安京は「洛都」「京洛」などと言われ、「洛」は「京中」を意味する言葉として定着しました。そして、後に将軍が京都に上ることを「上洛」または「入洛」と言うようになったのです。こうして平安京は、東側の左京中心の細長い都市型に繁栄しました。室町時代になると、応仁の乱により京都そのものが荒廃し、再び繁栄を取り戻すまでには織田信長の上洛を待たねばなりませんでした。



私たちは皆様と共に成長していけることを
願っています。

学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

効果のあるPRグッズの定番は **オリジナルのぼり旗**

イメージUP 戦略グッズの定番は **オリジナルピンバッジ**

地域のお祭りに大活躍する **祭祥天**

印旗・横断幕 腕章&タスキ 神社仏閣幕



今すぐ
アクセス!

京都 平岩

株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル

TEL 075-222-1041

*配信停止をご希望の方はお手数ですが、弊社まで「配信停止」とご記入いただきご返信ください。